

古の社寺



悠久の時 古寺古社を巡る 自分探しの旅

小國神社

一四五〇年の永い歴史を持ち、老杉繁る参道や境内は、まさに「古代」の名にふさわしい荘厳な雰囲気。初詣には、町内はもとより各地から多くの人で賑わいます。春には、初賀の花菖蒲、秋の紅葉、初春の梅など、四季を通じて見どころの多い神社です。

●電話/〇五三八八八九二三〇



大日山金剛院

森町と島田市との境にある大日山金剛院は、行基菩薩作られたと伝わっています。明治四十年春、火災のために諸堂伽藍がことごとく焼失。幸い火災を免れた山門は天保九年の築造で、御免大工黒川喜平の自作とされ、小屋組の部材には、数々の技巧の跡がうかがえます。

●電話/〇五七五二二〇八三

橋谷山大洞院

浪曲でおなじみ、森の石松の墓で知られる大洞院は、全国に三四〇〇余の末寺を持つ、東海曹洞禪の名刹です。境内には「消えずの灯明」「世継ぎのすりこぎ」「結果の砂」など、短仲禪師にまつる数々の伝説があり、「伝説の寺」とも呼ばれ、紅葉の名所にもなっています。

●電話/〇五三八八五二〇〇九



石松の墓

実谷山極楽寺

養老年間七二年ごろ、行基菩薩によって開創。天壽阿弥陀如来は行基菩薩自らの作と伝えられています。「極楽のゆく人の乗る雲の雲の色なるあじさいの花」と行基の詠んだ歌そのままに、約一万三千株のあじさいが咲き誇り、「あじさい寺」とも呼ばれています。シーズン中には多くの参拝客が賑わいます。

●電話/〇五三八八八七四〇七



松岩山蔵雲院

吉川沿いの東岸にある蔵雲院は、天方城主・山内山城守の菩提寺。境内には天方城主三代の墓があります。本尊の虚空蔵菩薩と本堂内の八方呪みの虎面は一見の価値があります。当院の住職であった鈴木俊隆老師はアメリカに禅を広め、著名な「コンマエーカ」にも影響を与えています。

●電話/〇五三八八八五二二二六



なきの大樹

天宮神社

長い石段をのぼると、杉槍の森に囲まれた本殿、拜殿が広がっています。かつてこの神社を参拝した国文学者・佐々木信綱博士が「天の宮神のみ前をかしこみと千歳さふらふなきの大樹」と詠んだ御神木なきの大樹は、東海で最も古い木とされています。

●電話/〇五三八八八五五五四四



高平山遍照寺

町の南、飯田地区の高平山の頂にある遍照寺。境内には、東海地区最大の大きさで讃えられる大仏が座しています。この大仏は森の鑄物師山田七郎左衛門種次の銘もあつた、寺の本尊が弘法大師であることから、地元では弘法様として親しまれています。

かわせみ湖

かわせみ湖は多目的ダムとして作られた太田川ダム湖です。湖の周辺には休憩所や気軽に歩ける散策コースが整備されています。パラマビューの展望台「彩り岬」や江戸時代から信仰されてきた地域信仰の神「大まる様」がある「片吹の郷」、自然観察のできる湖畔広場や野鳥観察エリア、学習の森などがあります。



鮎釣り

太田川とその支流の吉川、三倉川は鮎釣りの漁場として知られ、シーズン中には、県内外から多くの釣り人が訪れます。太田川では、市街地付近でも友釣りが可能。吉川と三倉川は美しい渓谷に囲まれて鮎釣りが楽しめます。

●太田川漁協
電話/〇五三八八五二〇八〇
本田川アユ釣り解禁/月日
吉川、三倉川アユ釣り解禁/六月十五日



里山の自然 懐かしい里山の風景 ほっとする こころの旅

町中心部より吉川沿いに九キロほど上流にある友田家は、平家の落人としてこの地に移って以来の旧家。現在残っている家は三〇〇年前の江戸期元禄年間(十八世紀)の初めに建てられたもので、その構造は「片喰違入型」と呼ばれています。「狼よけ」などの珍しい格子も見ることができます。



コテージ・アクティ 手づくりそば

アクティ森の南側、川を挟んで併設された四棟八室の宿泊施設で調理器具も完備。ほっとしてはそば体験で自分で打たそばも食べられます。

●株/アマカタ
電話/〇五三八八八五九八〇〇



東海自然歩道

森町管内のコースは、大目山金剛院から春埜山、大光寺を結び約四・五キロの自然歩道です。樹齢百年余の杉並木がうっそうと茂り、途中で富士山なども眺められます。野鳥の声を聞きながら、森林浴などが満喫でき、四季を通じて自然に親しむハイキングができるように整備されています。



森町サイクリング

アクティ森と天竜浜名湖鉄道遠州森駅ではレンタサイクルの貸し出しをしています。電動アシスト付自転車なら坂道もらくらく森町を気軽にサイクリングしてみませんか。

(貸し出し)自転車/電動アシスト付自転車・MTB(マウンテンバイク)・普通自転車(など)

町民の森

自然の中で心身休養できる憩いの場として整備された町民の森。四十八ヶ所もあるの広大な敷地では春にはサクラ、ミヤマツツジ、夏にはユウスゲ、秋にはキキョウと四季折々の山野草の観賞やメジロ、ウグイス、シジュウカラ、オオルリなどの探鳥が楽しめます。



カワセミの里

吉川のほとりにある五棟のバンガローと貸出しテントが利用できるキャンプ場。テントを持ち込んでの宿泊も可能で、水遊びや自然観察ができます。

●カワセミの里
電話/〇五三八八八五九八〇〇



町の鳥/カワセミ

戦国夢街道 ハイキングコース

戦国時代、徳川家康と武田軍が激しい合戦を繰り返り、数多くの伝説が残る三倉地区。この地はかつて「秋葉街道」「塩の道」が交差し、多くの旅人がたいへん賑わいました。四季の自然に親しみながら歴史を堪能できるウォーキングコースです。

●半島コース/四二キロ
●五ノノコース/五五キロ
●湯道コース/八五キロ



街道の文化 歴史の街道めぐり 先人の暮らし 歩き観の旅



江間家土蔵

当家は、天宮神主中村左京の分家。茶商や製糸を業としてきました。十代目の豊子は江間保(軍人空母瑞鶴攻撃隊長等)と結婚し、当家を継ぎました。土蔵は、明治十五年(八九二年)に七代目源五郎が建てたもので、現在階を展示室として、特別展の時に公開しています。

●電話/〇五三八八八五二二二



旧城下学校

明治十七年(一八八四年)に建設された城下学校は、現存する数少ない木造の校舎で町の文化財に指定され、旧見付学校、旧岩科学校に続き、県内に残る三番目に古い学校建築です。時代の変遷を経て、現在は城下老人憩いの家として利用されています。



城下の町並み

藤江家をはじめ見応えのある民家が残る城下の町並みは、上から見るとノコギリの歯のように見えます。敵が来るのを待ち伏せするためにできたという伝承がありますが、実際は曲線の自然堤防の上に作られたので、隣の家と少しずらずらして作らざるを得なかったとされています。



天方城跡

戦国時代、武田、徳川の攻防戦が繰り広げられた天正時代頃の陣城で、主郭の内堀、外堀、土橋などの遺構が現在も残っています。城跡は公園として整備されています。山頂の展望台からははるか遠く、太平洋や南アルプス、遠州一円も眺められます。



飯田城跡

飯田城は、太田川東岸に飯田城主三代目山内通泰が居城した城跡で、本丸・二ノ丸・北郭・堀切などからなり、地元では本城と呼ばれています。この城の北方に所在する崇信寺境内を旧城とし、山内道美・同久通下つて通泰の三代が飯田を領有したことが知られています。



歴史民俗資料館

明治十八年建築の周智郡役所を移築した資料館です。当時の外観のままに復元された、町立歴史民俗資料館は、館内に入ると昔にタイムスリップしたようです。展示品は、農耕具や生活用品、古文書などがあり、森町の歴史と生活文化の変遷が一目で理解できます。

●電話/〇五三八八八五二〇〇八
休館日/月曜日、火曜日、年末年始
入館料/無料



本町の町並み

江戸時代に火伏せの神「秋葉山」の参詣道として多くの旅人が往来した秋葉街道沿いにある本町の町並みは、漆子格子や鏝目目の板張りなど伝統的な建築で古着商や旅館など、江戸時代後期からの建物が点在し裏通りには往時の土蔵が残る宿場町の趣を残しています。



秋葉山常夜灯

江戸時代後期、伊勢参りや上方見物が盛んとなり、これに乗じて秋葉詣での宿場町森町も大変賑わいました。町内の北戸線、城下、大門、黒石、黒田など各村には必ず一基の常夜灯が建てられ、今でも夕方になると火への感謝と火防を念じて電灯が照らされます。